



## 6月のおすすめ カイツブリの縄張り争い

梅雨時は、カイツブリの縄張り争いが最も激しくなります。ネイチャーセンターの正面では、毎年2~3組のつがい縄張りを構えるのですが、その境界線では激しい争いが繰り広げられます。オスもメスも入り乱れた、各つがい同士の総力戦になることもあります。昨年は3組のつがいによる総力戦が、かなり長時間繰り広げられていました。

### 2019年4月3日~5月12日に見られた鳥

キジ、(コブハクチョウ)、ツクシガモ、オホヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カガモ、ハシロガモ、オカガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スガモ、ミコアイサ、カイツブリ、ハシロカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クイナ、バン、オバン、アマツバメ、ムナグロ、コチドリ、セイタカシギ、ヤマシギ、タシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、アオアツシギ、クサシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、ウスラシギ、ハマシギ、スグロカモメ、カモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、カケシ、コゲラ、ハヤブサ、ハシホリガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、コソアカツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、ジョウビタビ、ツグミ、シハラ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アジ、オジユリ

### 合計:76種類

※下線太字は注目の鳥、( )は外来種。



←  
今年も安来から泳いでやってきた、飛べないコハクチョウ  
(2019年4月19日撮影)

## 今月のNEWS

### 新たな専任指導員が着任!

2019年4月1日付で、三原菜美専任指導員が着任しました。専門職員が新たに着任したのは1999年以来20年ぶりです。

5年任期の嘱託職員として、主に米子市こどもエコクラブの運営と、中海の生き物に関する調査を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。



### ツルシギ夏羽が長期滞在!

春の渡り鳥の常連であるツルシギが、この春はいつもの年よりも長期滞在しています。3月13日に1羽確認された後、数を増やして5月上旬にかけて最多で5羽が確認されています。その間に、灰色の冬羽から、艶のある美しい黒の夏羽に換羽していきました。

真っ黒な夏羽の姿は珍しく、それが5羽も見られるのは大変貴重です。



# 6月のイベント

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。

## 6月8日(土)13:30~15:00 自然観察会「希少植物を探そう! Part2」

内 容：普段入ることができない野鳥保護区内で、アオヒメタデ、カワヂシャ、ヒメシロアサザなど、他ではなかなか見られない珍しい湿地の植物を観察します。

対 象：小学生以上がおすすめ・当日受付

持ち物：帽子、汗拭きタオル、水筒。動きやすい服装と長靴でご参加ください。



## 6月8日(土)~16日(日) マツダケン動物絵画展「水に憩う」

内 容：米子市出身の動物画家マツダケンさんが描く、独特な世界観の生き物の絵画作品を多数展示します。

対 象：小学生以上がおすすめ

会 場：水鳥公園ネイチャーセンター・スロープ壁面



## 6月16日(日)10:00~12:00 手作り自然教室「江戸の玩具紙つばめを作ろう!」

内 容：ひもを回すと尾がカラカラと音を立てて回転し、つばめが羽音をたてて飛んでいるように見える昔の玩具を、紙と竹で作ります。

対 象：定員 15 名・要予約・小学 3 年生以下は保護者同伴が必須。

参加費：500 円

会 場：水鳥公園ネイチャーセンター



## お申し込み・お問い合わせ先：米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL：0859-24-6139 FAX：0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：4月~10月 9:00~17:30

11月~3月 8:30~17:30 (土・日・祝日は、7:00から開園)

●入館料：高校生以上70歳未満：310円(年間パスポート1540円)中学生以下および70歳以上：無料

●休園日：毎週火曜日(祝日を除く)および祝日の翌日(土曜、日曜を除く)

